

(対象期間：2019/12/23～2020/1/3)

【株式市場】 SENSEX指数の推移  
(2016年1月1日～2020年1月3日)

## 【株式市場】

12月中旬にSENSEX指数などの主要株価指数の過去最高値更新が続いた後、年末にかけてインド株式市場は利益確定売りに押される展開となりました。27日は米中貿易交渉の第一段階の合意に関する調印に向けた作業が順調に進展するとの観測からアジア株式市場が概ね堅調となる中、インド市場も上昇しました。2020年に入ると、2期目のモディ政権が掲げる約100兆ルピーのインフラ投資についてシタラムン財務相が年末に計画の内訳を発表したことが好感されたほか、2日は海外市場が堅調となったこともありインド市場も堅調となりました。3日は米軍によるイラン革命防衛隊司令官の殺害を受けた原油高が嫌気されて下落しました。

2019/12/20	2020/1/3	変化率
41,681.54	41,464.61	-0.52%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2020年1月3日)

## 【債券市場】

23日は、インド準備銀行（中央銀行、RBI）がオペレーションツイスト\*を行ったことから、10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後、政府関係者が今年度の国営企業の株式売却目標の達成が難しいと発言したことや、原油価格の上昇が嫌気され利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、翌週に再びオペレーションツイストを行うとのRBIの発表が好感され27日に再び利回りは大きく低下しました。その後は追加のオペレーションツイストへの思惑から利回りは一進一退となりました。1月2日にさらなるオペレーションツイストの発表がありました。3日は原油価格が上昇したことを受けて利回りは上昇しました。

2019/12/20	2020/1/3	変化幅
6.602	6.515	-0.087

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2020年1月3日)

## 【為替市場】

原油価格がじりじりと上昇したことが嫌気されて年末までインドルピーは対米ドルで下落傾向となりました。年末に一旦原油価格が下落したことからルピーは一時持ち直しましたが、1月3日に原油価格が上昇したためルピーは再び下落しました。この間、円が対米ドルで上昇したことから、ルピーは対円でも下落しました。

2019/12/20	2020/1/3	変化率
1.538	1.505	-2.14%

\*中央銀行が公開市場操作において、長期国債の買い（売り）オペと短期国債の売り（買い）オペを同時に行うことで、市場への資金供給量を一定に保ったまま、長短金利を逆の方向に動かす金融政策の手法の一つ。今回RBIは、長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行った。

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。